

ウェブサイトパーツ仕様書

ウェブサイトパーツ作成作業者さまへ

管理者ではウェブサイトの構成をパーツ単位に切り分けており、そのパーツの作成をこの度お願い致します。
パーツの作成者さまにおかれましては基本的な Bootstrap5 系、HTML, CSS, PHP, Javascript へのご理解が必要です。

※フロントエンド表示の為ですので高度な PHP 知識は不要です。

例えばヘッダーパーツであれば H1.php や H3.php として、画像ギャラリーのパーツであれば M35.php や M36.php といったような感じにアルファベット 1 文字と任意の数字にてパーツを作成していただき、管理者がウェブサイトへ

```
<?php  
echo '<html><body>';  
require('H1.php');  
require('M35.php');  
echo '</body></html>';  
?>
```

といったような形で作成していただいたパーツを今後利用させていただきます。

時にはテキストを 1 箇所のみ表示するだけのシンプルなパーツでも、時には Javascript などスライドショーや動きのあるパーツにても、パーツひとつにつき固定の額にて報酬をお支払いさせていただきます。

インターネットにて公開されている商用利用可能なウェブサイトテンプレートやパーツ、Bootstrap5 系テンプレートからの引用にても一向に構いません。

また、本件がわかりやすいよう初期状態のひな形や既に作成したいくつかのパーツもご参考にしていただけますのでそれらを書き換える形などで良いので作成作業をお願いいたします。

単発ではなく、定期的にまとまった数のパーツを今後とも作成し続けていただくと幸いです。

基本仕様

フレームワーク : Bootstrap 5 系

使用言語 : HTML, CSS, PHP, Javascript (その他不可)

パーツ基本概要

ヘッダーパーツ : H(数字).php

フッターパーツ : F(数字).php

見出しのパーツ : A(数字).php

テキストが主体のパーツ : T(数字).php

画像が主体のパーツ : M(数字).php

お問い合わせフォームを含むパーツ : VC(数字).php

GoogleMaps が主体のパーツ : VM(数字).php

Youtube が主体のパーツ : VY(数字).php

表テーブルが主体のパーツ : VT(数字).php

SNS リンク一覧が主体のパーツ : VS(数字).php

お知らせフィードの為のパーツ : R(数字).php

区切りの為のパーツ : P(数字).php

ご使用可能な当方の独自 PHP 関数一覧

atext();

aimg();

aopt_default();

aopt();

snsli();

aform();

ayoutube();

amap();

上記 PHP 関数詳細

`atext()`;

は管理者が管理画面から入力する任意の文章をパーツ上に出力する為の関数です。

基本的には `atext(1, "");` といったような形でご利用ください。

出力例 1 : `<span class="text1">テキスト 1</span>`

出力例 2 : `<a href="#" class="text1">テキスト 1</a>`

出力例 3 : `<span class="text1"> テキストテキスト<a href="#">テキストあああ</a>そしてテキスト</span>`

引数一覧 :

`atext(1, "", false, false);`

第 1 引数 : `int` 型整数のみ設定可、省略不可。テキストの番号振り分けです。1 から数字の大きさに制限はありません。順番に入力してください。同じ番号の場合は管理者が管理画面にて入力する内容が重複して表示されます。また、その番号に応じて出力される `span` タグまたは `a` タグに `text1` や `text2` などのような `class` 名が付与されます。

入力例 1 : `atext(1, "");`

出力例 1 : `<span class="text1">テキスト 1</span>`

入力例 2 : `atext(2, "");`

出力例 2 : `<span class="text2">テキスト 2</span>`

第 2 引数 : 文字列型のみ設定可、省略不可、空白可能。出力される `span` または `a` タグへのクラス名です。

入力例 1 : `atext(1, 'hoge');`

出力例 1 : `<span class="text1 hoge">テキスト 1</span>`

入力例 2 : `atext(1, 'headline hoge fuga');`

出力例 2 : `<span class="text1 hoge fuga">テキスト 1</span>`

第 3 引数 : `false` または `true`、省略可、既定は `false`。テキストが `<li>` 形式である必要な箇所には `true` にしてください。`<li>` の数は管理者の管理画面の入力数値によって変動しますし `<li>` の中が `span` のみであったり `a` タグリンクであったりします。

入力例 1 : `atext(1, " true);`

出力例 1 : `<li><span class="text1">テストテスト</span></li><li><span class="text1">テスト</span></li>`

入力例 2 : `atext(1, 'hoge' true);`

出力例 2 : `<li><span class="text1 hoge">テストテスト</span></li><li><span class="text1 hoge">テスト</span></li>`

第 4 引数 : `false` または `true`、省略可、既定は `false`。ウェブ上での出力でなく、完全に PHP 内での処理判定の為に利用するなどの時はこれを `true` にすることで `<span>` や `<a>` の無い形にて出力させることができます。

入力例 1 : `atext(1, " false, true);`

出力例 1 : テストテスト

aimg();

は管理者が管理画面からアップロードする任意の画像をパーツ上に出力する為の関数です。

基本的には aimg(1, '1200x500', 'img', ''); といったような形でご利用ください。

出力例 1 :

引数一覧 :

aimg(1, '1200x500', 'img', '');

第 1 引数 : int 型整数のみ設定可、省略不可。画像の番号振り分けです。1 から数字の大きさに制限はありません。順番に入力してください。同じ番号の場合は管理者が管理画面にて入力する内容が重複して表示されます。また、その番号に応じて出力される img タグに img1 や img2 などのような class 名が付与されます。

入力例 1 : aimg(1, '1200x500', 'img', '');

出力例 1 :

入力例 2 : aimg(2, '1200x500', 'img', '');

出力例 2 :

第 2 引数 : アルファベット小文字の x で区切る int 型整数のみ設定可、省略不可。デフォルトの画像の横と縦の比です。あくまでデフォルトの横縦サイズの参考となり、管理者はなるべくその縦横比にそった画像を管理画面からアップロードしますが、その限りではありません。

入力例 1 : aimg(1, '1200x500', 'img', '');

出力例 1 :

入力例 2 : aimg(1, '800x800', 'img', '');

出力例 2 :

第 3 引数 : 文字列 img, url, edit, width, height のいずれかのみ設定可、省略不可。出力する画像タグの形式です。例えば通常通り画像を表示したい箇所にはのような形で img タグを記述しますが、画像を背景として使用するなどの場合には URL のみや、PHP や CSS の処理で画像や width の値のみを入力する必要がある為、この設定項目があります。必要箇所によって使い分けてください。

注意として、img 形式がなく url 形式でのみ記述した番号の aimg 関数にはパーツの上部に同じ aimg 番号で必ず edit 形式の aimg 関数も記述しておいてください。それがないと管理者は管理画面上にてその番号への画像ファイルアップロードができません。

入力例 1 : aimg(1, '1200x500', 'img', '');

出力例 1 :

入力例 2 : aimg(1, '800x800', 'img', '');

出力例 2 :

入力例 3 : aimg(14, '1200x500', 'url', '');

出力例 3 : `https://sample.com/sample.jpg`

注意 : 管理者が管理画面上にて画像をアップロードできるよう必ず同じ番号の `edit` 形式もパーツの上部に書いておくこと。 `aimg(14, '1200x500', 'edit', '');`

入力例 4 : `aimg(1, '1200x500', 'width', '');`

出力例 4 : `1200`

注意 : デフォルトでは関数上の引数の `width` が出力されますが、管理者が当該番号の画像をアップロードした場合はその画像の `width` が出力されるようになります。

入力例 4 : `aimg(1, '1200x500', 'height', '');`

出力例 4 : `500`

注意 : デフォルトでは関数上の引数の `height` が出力されますが、管理者が当該番号の画像をアップロードした場合はその画像の `height` が出力されるようになります。

第 4 引数 : 文字列型のみ設定可、省略不可、空白可能。出力される `img` タグへのクラス名です。

入力例 1 : `aimg(1, '1200x500', 'img', 'hoge');`

出力例 1 : ``

入力例 2 : `aimg(1, '1200x500', 'img', 'hoge fuga');`

出力例 2 : ``

`aopt_default();` と `aopt();`

は管理者が管理画面から入力する任意の数字または文字列をパーツ上に出力する為の関数です。

例えばグーグルマップの住所や、`for` 関数、`while` 関数を利用してなんらかのコンテンツの数を管理者に任意に設定させたい場合はこの関数を使います。

管理者が管理画面から入力した数字または文字列が `aopt();` にそのまま出力されます。入力されるまでは `aopt_default();` の内容がデフォルトとして `aopt` に出力されます。

そのため、`aopt();` をパーツ内に記述した際は必ず同じ番号の `aopt_default();` をパーツ上部に書いておく必要があります。

`aopt_default` の引数一覧 :

`aopt_default(1, '4', '');`

第 1 引数 : `int` 型整数のみ設定可、省略不可。オプションの番号振り分けです。1 から数字の大きさに制限はありません。順番に入力してください。

第 2 引数 : 文字列型のみ設定可、省略不可。管理者が入力するまで、つまり未入力状態での同じ番号の `aopt` へのデフォルトの内容として。

入力例 1 : `aopt_default(1, '4', '')`;

出力例 1(第 1 引数の同じ番号の `aopt` に) : 4

入力例 2 : `aopt_default(1, '国会議事堂', '')`;

出力例 2(第 1 引数の同じ番号の `aopt` に) : 国会議事堂

第 3 引数: 文字列型のみ設定可、省略可。管理者の管理画面でのみ表示されるその項目に関する説明文。その為、パーツ作成者さまはこの引数の出力結果を確認できませんが、管理者がどのような設定項目なのかを把握する為に必要ですのでなるべく記載してください。HTML コード入力可能。

入力例 1 : `aopt_default(1, '4', '画像ギャラリーの数。数字を入力してください。')`;

出力例 1(管理画面でのみ表示) : 画像ギャラリーの数。数字を入力してください。

`aopt` の引数一覧 :

`aopt(1)`;

入力例 1 : `aopt(1)`;

出力例 1 : `aopt_default(1, '4', '')`;の第 2 引数または管理者が任意に入力する文字列。つまり、4

snsli();

は SNS リンクを表示させるための関数です。形式で出力されます。また、class 名に snsli とつきます。

URL を判別して自動的に対応した SNS のアイコンと SNS 名が表示されます。

aopt(); と組み合わせて使用します。基本的にはこの関数自体には引数を変更せずひな形のままで大丈夫です。

入力例 1 :

```
aopt_default(1, 'https://facebook.com/sample, https://twitter.com/sample', '半角句読点の,区切りで SNS の URL  
を入力してください。');  
snsli(aopt(1));
```

出力例 1 : <li class="snsli"><i class="fa fa-facebook-square"></i>Facebook<li class="snsli"><i class="fa fa-twitter"></i>Twitter

aform();

はお問い合わせフォームを表示させるための関数です。それぞれの input 欄がテーブルの<tr><td>形式で出力されます。

注意として、この関数はパーツ VC(任意の数字)のみで動作します。他のアルファベットのパーツでは動作しません。

aopt(); と組み合わせて使用します。aform();への aopt_default の第 2 引数と第 3 引数は全てのパーツで統一化しておりますので既存のパーツから変えずに同じようにしてください。番号である第 1 引数のみズレないように合わせてください。

また、そのフォームタグに付随する<form>や<input type="submit">についても action や value が決まっておりますので既存の VC パーツの当該部分をコピーしてください。

入力例 1 :

```
aopt_default(1, '必須名前、件名、メールアドレス、リスト 4、自由単、自由単 2、自由複、選択単 4、選択複 4',  
aform(aopt(1),true));
```

```
aform(aopt(1));
```

出力例 1 : <tr><td>/* ラベル名 */</td><td>/* input または textarea フィールド */</td></tr>...以下設定項目に応じて必要回数ループ

ayoutube(); と amap();

基本的には **aform** と同様に **aopt** と組み合わせて使います。

ayoutube は **youtube** の URL を入力されると **youtube** の動画を表示し、**amap** は住所や建物名称を入力されると当該地点の **googlemaps** を表示します。

色コード出力用定数

BGBODYCOLOR

BGFontCOLOR

ウェブサイトはテーマカラーの設定があり、上記の定数がそれに応じた色コードとして出力されます。

CSS に直接色コードを書かれてしまうとテーマカラー設定に関わらずその色に固定され、テーマカラーの色合いによっては馴染まなかったり、背景色または文字色が被って同化してしまう可能性がある為、ウェブサイトのパーツにアクセントカラーをつける場合、極力上記の定数を使用してください。

背景である `Background` には BGBODYCOLOR を、文字である `color` には BGFontCOLOR を利用してください。

使用例：

```
<style>
```

```
#<?=$pt?> .box1 {background:<?=BGBODYCOLOR?>;}
```

```
#<?=$pt?> .text1 {color:<?=BGFontCOLOR?>;}
```

```
</style>
```

```
<div class="box1">
```

```
<?=atext(1, ">
```

```
</div>
```

パーツ初期状態ひな形および書き方ルール

- ・ CSS や Javascript は別ファイルかせず、それぞれのパーツの<style></style>の間かインラインで書いてください。
- ・ CSS は必ず全てに #<?=\$pt?> をつけてください。\$pt はパーツごとに固有の文字列に切り替わる為、これによって他パーツとの CSS の干渉を避けられます。
- ・ Section の id には上記の\$pt を必ず、 class には anim(

(なんの記述もない完全にまっさらな状態。この初期状態の中のいずれも省略はできません。基本的にはこの<section></section>間にコードを足す形でお願いします。)

```
-----  
<style>  
#<?=$pt?> {}  
</style>  
  
<section id="<?=$pt?>" class="<?=anim('section')?>">  
  
</section>  
  
<script>  
  
</script>  
-----
```

(たとえばテキストを主体とする T 系のパーツの例、シンプルに大きなテキストを真ん中に表示するパーツ。)

T3.php

```
-----  
<style>  
#<?=$pt?> .text1 {display:block; text-align:center; padding:10px;}  
</style>  
  
<section id="<?=$pt?>" class="<?=anim('section')?>">  
<div class= "container">  
<?=atext(1, 'display-4')?>  
</div>  
</section>
```

<script>

</script>

(たとえばテキストを主体とする T 系のパーツの例、シンプルにテキストをそれぞれのボックスの中で表示し、`aopt` でそのボックスの数も任意に変更できるパーツ。)

T4.php

<?php aopt_default(1, '4');?>

<style>

#<?=\$pt?> .title {font-weight:bold; display:block; text-align:center; padding:10px;}

</style>

<section id="<?=\$pt?>" class="<?=anim('section')?>">

<div class="container">

<div class="row gy-5">

<?php

for (\$i=1; \$i<=aopt(1); ++\$i){

echo ' <div class="col-12 col-lg-6">' .atext(1, 'title'). '</div>';

}

?>

</div>

</div>

</section>

<script>

</script>
